

# 第1号議案 2013年度事業報告

## I 組織・運営

### 1. 定例総会

#### 第41回定例総会

日時：2013年5月26日(日)13:30～17:00

場所：HRCビル 5階ホール

出席者：50 表決状提出：235 計285

\*会員総数(個人会員331、団体会員100 計431)の過半数出席

議案：2012年度活動報告／決算報告／2013年度役員体制／公益法人移行に関する事項

#### 総会記念企画

記念企画：「SOSはなぜ届かなかったのか?～西区二児放置死事件が問いかけるもの～」

杉山 春さん(ライター)

参加者：131名

#### 第42回定例総会

日時：2014年3月30日(日)10:00～12:00

場所：HRCビル 5階ホール

出席者：38 表決状提出：167 計205

\*会員総数(個人会員307、団体会員88 計395)の過半数出席

議案：2014年度活動計画(案)／2014年度予算(案)

### 2. 公益社団法人移行に向けて

2014年3月19日公益社団法人の認定、4月1日法人設立登記

### 3. 会員の拡大と広報の充実

#### (1) 会員の現況

・2013年3月末

個人会員311／団体会員91／賛助会員189

・2014年3月末

個人会員293／団体会員85／賛助会員181

#### (2) 若者プロジェクト

会員やボランティアスタッフに学生、若者層を増やし、団体の活性化を図るために若者が主体となり設立。コンセプトは、「自分が知らずしらずのうちにもっている『偏見』や『先入観』に気づく」。

#### ①ミーティング

4/8(月)、4/22(月)、5/13(月)、6/7(金)、9/23(月)、10/11(金)

10/29（火）、2/15（土）、3/31（月） 全9回

②上映会「終わらない戦争」

日 程：9月27日（金）

場 所：HRCビル4階研修室

内 容：映画「終わらない戦争」を上映し、その後グループに分かれディスカッション

参加者：20名

③東北⇄関西ポジティブ生活文化交流祭への参加

日 程：11月23日（土）

場 所：長居公園自由広場

内 容：子ども人権ワークショップ「まつぼっくりツリーづくり」

参加者：約50名

**（3）インターンシップの募集・受け入れ**

- ・大阪市つどいの広場事業 育児&育自 “この指と〜まれ！”  
関西大学第一高等学校より3名
- ・大阪市つどいの広場事業 はっぴいポケットみ・な・と  
森ノ宮医療大学より10名

**（4）広報の充実**

①ホームページならびにブログ

- ・公益社団法人移行に際し、全面リニューアルをおこなった。
- ・『はらっぱ』バックナンバーを全頁掲載し、広く一般の方に閲覧可能とした。  
<http://www.kojoken.jp/>

②現会員に継続していただくため、魅力ある情報（講座・学習会等の案内、事務局情報）を随時、発信。

③人権保育教育連続講座、自治労全国保育集会、全国人権保育研究集会等あらゆる機会において、積極的に『はらっぱ』等を販売。

④センターの相談事業（チャイルドラインOSAKA、ファミリー子育て何でもダイヤル、子ども家庭相談室）を知ってもらうべく、市民フェスタ等へ参加。

⑤ロゴを講座や研修チラシ等に積極的に活用。

**4. 理事会**

開催日と内容は以下のとおり

- ・2013年4月19日（金）10:00～12:00  
2012年度活動報告（案）、2012年度決算（案）、役員の変更、法人移行に関する事項
- ・2013年5月10日（金）持ち回り理事会  
5月26日総会 第4号議案 公益法人移行に関する事項
- ・2013年5月26日（日）11:00～12:00  
総会議案の確認、公益法人移行の進捗確認

・2013年7月8日（月）15：00～17：00

公益法人移行に関する申請書について、移行後の理事会体制について、「役員の報酬及び費用に関する規則」について

・2013年10月3日（木）19：00～20：30

公益法人移行に関する申請書について、はらっぱ基金について、会員会費規程（案）について、就業規則（案）について、公印管理規程（案）について

・2013年12月12日（木）19：00～20：30

公益法人移行に関する申請書について、会員会費規程（案）について

・2014年2月12日（水）19：00～20：30

公益法人移行に関する申請状況について、2014年度事業計画案、予算案について、寄付の優遇税制について

・2014年3月30日（日）9：00～9：45

移行登記に関する進捗状況について、総会の役割分担について、公印管理規程（案）について、大阪府教育委員会「24時間電話相談」に係る夜間・休日等の教育相談の入札結果について、平成26年度文部科学省「いじめ対策等生徒指導推進事業」申請結果について、「子どもの権利条約教材作成」（収益事業）案について

## 5. 事業部門連絡会

各部門事業の充実を図るため、部門担当者と事務局担当者が集まり、事業の現状と課題、『はらっぱ』の内容について協議。隔月第3月曜日に開催（6/17、8/19、10/21、12/16、1/20、2/17、全6回）。

ボランティアスタッフの拡充、研修の充実のために、部門合同で「ボランティア養成講座」を計画。2014年度開講予定。

## 6. 「はらっぱ基金」

子どもの権利擁護事業のさらなる展開をめざして、2007年に創設。

2013年度も大阪府教職員組合さまよりご協力いただいた。基金総額は次のとおり。

（2014.3月末現在 5,717,974円）

## Ⅱ 公益目的事業

### 1. 子どもの権利に関する調査研究

#### (1) 独立子どもアドボカシー研究プロジェクト

イギリスの独立子どもアドボカシーサービスに学んで、日本の児童福祉施設（児童養護施設・障害児施設）における子ども訪問アドボカシーサービス導入のニーズと課題を実証研究により明らかにし、提供モデルを構築することを目的とした研究の実施。

日本とイギリスの児童養護施設、障害児施設における独立アドボカシーの取り組みについて、研究者および、当事者から報告を受け、議論した。研究会は全 11 回。

5/4（日）、6/29（土）、7/7（日）、8/19（月）、9/16（月）、10/25（金）、11/16（土）  
12/22（日）、1/13（月）、2/22（土）、3/29（土）

#### (2) テーマ別研究部会

##### 【障害児の生活と共育を考える】

3月1日（土）、合同シンポジウム「障害者差別解消法とインクルーシブ教育」を開催。

※公教育計画学会との共催

##### 【子どものことばと生活】

「部会開催なし」

##### 【からだ育てA】開催場所：HRC ビル 4 階研修室

- ①うたあそびのそだつすじみちを、実技を交えて交流しあった。まねっこあそびやキックトンあそび（『はらっぱ』2013年6月号参照）も。（6/19）
- ②『かくれんぼう』（中川香子 人文書院）を参考に、かく、かくれんぼう、鬼あそびについて学習。おちゃらかホイの乳児版を実技で交流。（9/18）
- ③からだとは何か。ワロンのからだ観・子ども観。わらべ唄のこと。あそびとおもちゃの世界についても交流。（12/4）
- ④からだ言葉について。からだ言葉が消えていく現実。医の世界とからだ言葉、血色、血潮のこと。薬指の話。息の仕方が生き方の基本。野口体操、つるまき体操を試みた。（2/15）

##### 【からだ育てB】開催場所：保育所聖愛園

からだあそび、うたあそび、絵本で表現あそび（3歳児ほとんどが4歳に）をしたあと、マットで前回りをころみる。ひざをかかえてのゆりかご動き、腕でからだを支えての足たたき等をへて、いろいろ工夫してのまえまわり。（2/5）

##### 【子ども人権】

2013年度の部会は、メンバーの日程調整がなかなかすまず、2014年3月7日（金）の1回のみしか開催できなかった。この回は部会メンバーが執筆している章があるというこ

とから、桜井智恵子・広瀬義徳編著『揺らぐ主体／問われる社会』（インパクト出版会、2013年）を取り上げて、読書会を行った。2014年度は他の部会や本センター及び他団体のイベントとの合同企画なども含め、子ども人権部会の開催回数を増やしていきたい。

### 【子育て連携】

「部会開催なし」

### （３）子ども支援学研究会

ひろく市民に呼びかけ、子どもの権利の現状と課題、その取り組みを交流、検討するため、子どもの権利をめぐる課題についてのシンポジウムを行った。子どもオンブズパーソン研究会、子どもの権利条約総合研究所との共催。

#### ①子どもの権利の視点から『いじめ』と『体罰』を考える

～「いじめ防止法」制定等の動向を視野に入れて～

日 時：6月15日（土） 13：30～15：00

場 所：HRC ビル5階ホール

内 容：論題提起「子どもの権利の視点から『いじめ』と『体罰』を考える」

提起者：住友剛さん（京都精華大学） 森田明美さん（東洋大学）

荒牧重人さん（山梨学院大学法科大学院） 吉永省三さん（千里金蘭大学）

参加者：46名

#### ②子どもの権利の視点から「いじめ」問題を考える

～文科省「いじめ防止基本方針」と自治体・学校・市民等における課題～

日 時：2014年2月1日（土）13：30～15：00

場 所：HRC ビル5階ホール

内 容：提起①「大津いじめ自殺事件以後」をどう見るか

住友剛さん（京都精華大学教員）

提起② 文科省「いじめ防止基本方針」をどう読むか

荒牧重人さん（山梨学院大学法科大学院教員）

報告①「大津の子どもをいじめから守る委員会」の1年

森澤範子さん（大津市いじめ対策推進室・相談調査専門員）

報告② 川西市子どもオンブズにおけるいじめ問題への取り組み

渡邊充佳さん（川西市子どもの人権オンブズパーソン事務局・調査相談専門員）

参加者：42名

### （４）共同子育て連絡会

地域子育て支援の実践者が集まり、以下の活動において、「共同子育て」についての議論を深めながらその成果を発信した。

#### ①定例会開催

2013年4/16、5/13、6/18、7/16、8/23、9/3、10/8、11/5、12/3、2014年1/7、2/4、3/4

#### ②『はらっぱ』の共同子育て連絡会発「子育て温泉」のコーナーを担当（年間6回）

#### ③ 第35回人権保育教育連続講座（後期）「子育て温泉」～子どもの人権を保障する場をつ

くろう～」の講師を担当

④「子育て支援者のための実践研究ゼミ」の企画・実施【大阪府社会福祉協議会委託】

対 象：大阪府内の保育園の子育て支援担当者

内 容：講座タイトルを「“聴く”からはじまる保護者支援」と掲げ、共同子育て連絡会のメンバーが講師をチームで担当。参加者は連続受講。

日時	テーマ
6/14	オリエンテーション
7/12	事例検討①「あそびの風景から」
9/13	事例検討②「つながりあってつくる支援」
10/18	見学会「あそびのお部屋シュッポポ」を訪問
11/15	事例検討③「保護者の声を聴く」
12/13	子どもの人権を保障する場をつくろう
1/10	事例検討④「子どもとともに」
2/7	研究発表・まとめ

\*時間はいずれも 14:00～17:00

参加者：15名（13園）

④共同子育て連絡会発ゼミナール「広げよう 共同子育ての輪を！」の開催

場 所：HRC ビル4F 研修室

内 容：

日程	タイトル・内容	参加者
11/5	鈴木祥蔵先生のコラムを読み合う	7名
12/3	「共同子育て」にこめられた想い ゲスト：田中文子さん	11名
1/7	みつけよう♪わたしのテーマ みんなのテーマ	12名
2/4	共同子育てあれこれ	7名
3/4	田中文子さんと夢を語ろう	10名

\*時間はいずれも 14:00～16:00

## 2. 子ども及び家庭のアドボカシー

### (1) ファミリー子育て何でもダイヤル（連合大阪からの事業委託）

【開設時間】毎週水曜日 10:00～20:00（年末年始祝祭日は除く）

電話番号：06-4394-8754（2013年7月まで）06-6585-9287（2013年7月から）

体 制：スタッフ20名 1日2～3名

シフト（1人あたり月1～3回のローテーションを組んで担当）

相談件数：211件 時間：6617分 日数：47日（2013年4月3日～2014年3月26日）

#### ①スタッフミーティング

日 程：4月、5月、7月、8月、9月、10月、11月、12月、1月、2月、3月（全11回）

内 容：養成講座・広報・研修について検討して実施、事務連絡、スタッフ交流

※8月は、『はらっぱ』特集記事のため、スタッフ研修として「30分で聴くワーク」を実施。（参加者12名）

②報告書の作成

1年間の活動の成果をまとめ、子育て家庭の現状と課題を広く社会に発信していくために、年次報告書を作成した。

③広報

子育て講座などの受講者や、各団体などにカードを配布。「はっぴいポケットみ・な・と」通信に情報掲載。

④スタッフ養成講座

場 所：HRCビル5F小会議室

日程	テーマ	講師	参加者
11/13 (水)	①市民による相談活動 ～聴くことから始まるコミュニケーション～	橋本暢子(大阪府子ども虐待防止アドバイザー)	18名
	②子どものそばにいるなかで ～不登校の子どもの居場所から～	宮川要二(自由空間☆きらりコーディネーター)	18名
11/27 (水)	③就労と子育て ～働く親の現状を知る～	永野有紀(連合大阪組織拡大・非正規労働センター・連帯・国際グループ長)	15名
	④人の思いに寄り添って ～話を聴くということ～	小谷訓子(子・己育ち相談リーフ主宰)	17名
12/11 (水)	⑤支え合う関係を築きたい ～障害をもつ子どもと親を支える～	豊高明枝(障害児の生活と共育を考える部会)	17名
	⑥ファミリー子育て何でもダイヤルとは～聴いてみよう、話してみよう～	ファミリー子育て何でもダイヤルスタッフ	13名

⑤ファミリー子育て何でもダイヤル研修

「ナースに学ぶ聴くケアの極意」

講 師：伊藤悠子(メディエーター/医療対話推進者)

日 時：2月18日(火) 10:00～12:00

場 所：HRCビル4F 研修室

参加者：27名

(2) チャイルドラインOSAKA

【開設時間】 毎週金曜 16時～21時 TEL0120-99-7777

アクセス件数：1104件 総通話時間 170時間58分

体 制：34名

会 議：全スタッフ会議を毎月1回開催。

広 報：

- ・大阪府内の公立小中高、私立小中高に大阪連絡会とともにポスターの配布。(1290 枚)
- ・「子どもの声を聴けるおとな」養成講座 (11/9、11/16、11/30、12/7、12/14)  
チャイルドラインひがしおおさかと合同で開催。
- ・「子どもの声を聴けるおとな」実践講座 (1/18、1/25、2/8)

他団体との連携：

- ・チャイルドライン支援センター総会 (6/1)
- ・チャイルドライン大阪連絡会 (年 4 回)
- ・近畿北陸エリア合同会議 (8/24)  
近畿北陸エリア合同研修 (11/23)
- ・チャイルドライン全国研修 in 東京 (10/26、27)

### (3) 子ども家庭相談室

#### ①相談・救済

いじめ、先生からのセクシュアル・ハラスメント、体罰等、学校や家庭における子どもの人権侵害に関する相談を子どもやおとなから受け、民間第三者機関として子どもの権利救済をはかった。

【開設時間】 毎週月・火・木曜日 10 時～20 時 (年末年始、祝日は休み)

面接は木曜日のみ (面接予約 TEL06-4708-7087)

電話番号 TEL06-4394-8754

相談件数：電話相談延べ 591 件、面接相談延べ 75 件

会 議：定例会、ケース会議をそれぞれ月に 1 回開催

研 修：各回 90～120 分。

日時	テーマ	講師
11/8	子どもへの性暴力・その実態～対応への留意点～	原田薫 (ウィメンズセンター大阪、性暴力救援センター・大阪)
11/18	子どもとともに地域で活動している中で感じることなど	西川日奈子 (NPO 法人西淀川子どもセンター 代表理事)
12/10	子どもの人権を考える～子どもの参加・参画から子どもの意見表明の大切さについて学ぶ～	浜田進士 (特定非営利活動法人 子どもの権利条約総合研究所 関西事務所長)
12/20	いじめ防止法について学び、今後の相談活動に活かす	峯本耕治 (弁護士)

参加者：10 名

#### ②文部科学省から委託を受け、平成 25 年度「いじめ対策等生徒指導推進事業」の実施。

子どもの権利侵害の救済は、被害を受けた児童生徒の意見表明権を保障し、最善の利益を確保することが重要である。しかし、実際には、保護者の思いが前面に立ち、児童生徒自身の思いがとらえきれないケースも目立つ。児童生徒の意見表明権を保障するための保護者等との連携のあり方を調査研究。



#### (4) 「被害者救済システム」連携支援機関【大阪府教育委員会からの業務委託】

大阪府内の市町村立学校及び府立学校で生起する、教職員による児童生徒に対するセクシュアル・ハラスメント、体罰及びいじめ等の被害を受けた児童生徒を救済し、事象の解決を行う「被害者救済システム」において、民間相談窓口として、(3)の「子ども家庭相談室」が児童生徒及び保護者からの相談を受けた。申立1件。

#### (5) 24時間電話相談【大阪府教育委員会からの業務委託】

子どもや保護者からの相談に迅速に応じるため、24時間開設している相談電話。大阪府教育センター「すこやか教育相談」における電話相談の実施時間帯以外の時間帯（夜間・休日等）の電話相談業務の委託。

開設日：2013年4月1日～2014年3月31日

開設時間：平日17:30～翌朝9:30 および土・日祝日の終日

相談件数：1988件

#### (6) 大阪市つどいの広場事業【大阪市からの業務委託】

大阪市つどいの広場事業の委託を受け、市内2か所でつどいの広場を実施。

##### 【港区：はっぴいポケットみ・な・と】

開設時間：月・火・水・金・土10:00～15:00

年間来所者数：おとな1,770名、子ども2,112名

年間実施日：249日

内容：

①毎月、ベビーマッサージ・ヨガ・わらべうた・おしゃべり会・親子あそび・手づくりおもちゃなどを実施。新しい出会いによる親子のつながりが生まれた。

②毎週金曜日の午前中に「あかちゃん day&プレパパ・プレママ day」を実施。

「あかちゃん day」は地域に浸透し、参加する親子も増え、午後からの普段のひろばへの移行によって、自然と先輩ママと交流しやすい環境になった。「プレパパ・プレママ day」は、2人目出産予定の方に留まった。

③日によって、参加者数にひらきがあることが課題。土曜日開設の特色も活かし、参加者のニーズを模索していく。

④ふたごのひろばを月に1回実施することで、参加者は少なかったものの、次年度の他施設との連携や、地域・ボランティアの参加が強化された。

⑤つどいの広場研修や講座に参加し、スタッフとしてのあり方、ひろばの課題等を話し合い、自主研修をおこなった。スタッフ同士のスキルアップを、現場にも生かすことができた。定例ミーティングも、月に1回実施した。

⑥みんなと子育てしチャオ会（港区子育て連絡会）に参加することで地域との連携をはかれた。公園あそび（八幡屋公園にて年4回）に出張することで、参加者の出会いの場を広げることができた。その他、地域の催し、会議には月に4～5回は参加。

【淀川区：育児&育自 “この指と〜まれ!”】

開設時間：月～金曜日 11:00～16:00

年間来所者数：おとな 1,922 名 子ども 1,972 名

年間実施日：241 日

内容：

2013 年度も、誰もがほっとできる居場所としての「つどい」を目指し、定例の「保健師相談」「英語で遊ぼう!」「お誕生会」「ティールーム」その他季節の行事や保育付の講座に取り組んだ。

前年度から懸案のマタニティ層への発信は、「マタニティヨガ」に取り組み、保健センターでの広報も行ったが、なかなか広がりが見えなかった。

新しい取り組みとしては、歯科衛生士さんによる「歯の話」を年 4 回開催した。一般的な歯の話と個別の相談指導を行ってもらい、歯に対しても不安が軽減でしたことで、参加者には喜んでもらえた。

また、毎年夏休みに行っていた小学生による保育ボランティアが、保護者からも小学生からの希望が多く、今年度は春休みにも実施。お誕生会などのイベントのお手伝いや保育付講座の保育を一緒にしてもらったりと、小学生が大活躍。子どもは子ども同士、乳幼児もとても嬉しそうに過ごしていた。

(7) 大阪市子ども相談センター不登校児童通所事業【大阪市からの業務委託】

①開設日時：火・水・金・土曜日 11:00～15:30

②実施場所：喜連子育て支援センター2階

③スタッフ体制：事業責任者 1 名、常勤スタッフ 2 名、ボランティアスタッフ 14 名

④登録者数：8 名（小学生 1 名／中学生 7 名）

⑤ふりかえり：活動後のふりかえり／月 1 回のスタッフ会議／その他自分たちの関わりをふりかえる機会を日常的に持つ

⑥大阪市子ども相談センターとの連携：実務者会議、月に 1 度実施。

⑦新規スタッフ養成研修

日 程：5 月 11 日(土)、5 月 22 日(水)、6 月 8 日(土)、7 月 6 日(土)、7 月 17 日(水)  
計 5 回

場 所：市民交流センターひらの

内 容：講座（4 時間）…ワークショップを用いて、子どもの人権や不登校の現状について参加者の現認識を把握する。

実習（3 日）…サテライトの活動に参加。各日、事業責任者とふりかえる。

(8) 大阪府子ども家庭サポーター協議会（サポーターネット）

①シンポジウムの開催

「もしも、私が彼女だったら…。～大阪市西区二児放置死事件から見た市民の役割～」

日 時：6 月 29 日（土）13:30～15:30

場 所：HRC ビル 5 階ホール

内 容：シンポジストから大阪市西区二児放置死事件の概要が説明され、マスコミ報道か

ら感じる違和感、身近な事例から思う虐待の現実、自分自身の思いなどの話があった。会場とのやり取りでは、各自が自分の問題として引きつけて考えながら参加者と共有ができた。

参加者：当日の飛び入りも含め約 100 名。アンケートも多くの感想記入が見られた。

主 催：大阪府子ども家庭サポーター協議会、「西区事件（大阪市西区で起こった 2 児虐待死事件）裁判傍聴メンバー（会員有志）」

共 催：浪花のママネットワーク shiny☆c、NPO 法人児童虐待防止全国ネットワーク

②読書会「はらっぱ 9 月号・ルポ虐待」を開催

日 時：11 月 29 日（金）14:00～16:00

場 所：HRC ビル 4 階

内 容：杉山春さんが上梓された「ルポ虐待—大阪二児置き去り死事件」と「はらっぱ 9 月号」（特集：大阪西区二児放置死事件から私たちが何をすべきかを考えた）を読んで感じたことを話し合った。

参加者：11 名

### （9）保育部ももぐみ

①担い手登録人数 61 名（2014 年 3 月現在）

②保育依頼先件数 31 団体

阿倍野区保健福祉センター	ウィメンズセンター大阪
大阪国税労働組合	大阪市教育委員会
大阪市教職員組合	大阪市職員労働組合
大阪市男女共同参画のまち創生協会	大阪府教職員組合
大阪ふるさと暮らし情報センターシティプラザ	此花区保健福祉センター
堺母親連絡会	しんぐるまざあず・ふおーらむ・関西
しんぐるまざあず・ふおーらむ・箕面	自治労大阪府本部
中央区役所市民協働課	中央区 P T A 協議会
にしよど親子劇場	リーブス関西
NA 日本コンベンション実行委員会	NPO ネットワーク医療と人権
NPO 法人多言語広場 C E L U L A S	他 10 団体

③担い手保育依頼回数 148 回

ももぐみへの保育依頼は再依頼も含め、年々増加傾向にある。子どもの人権を大切に  
する保育の実践が、認められてきた証とも言える。保育中は、安心・安全と子どもの遊  
びを中心とした活動で、居心地よく過ごせる場を提供した。とくに、虐待や夫婦・家族  
の相談中の保育、障害をもつ子どもたちの保育には、ひとりひとりの発散やニーズに応  
えられるように配慮した。

④ももぐみだより No.15 発行（2014 年 3 月）

⑤定例会

2013 年 4/16、5/13、6/18、7/16、8/23、9/18、11/5、12/17

2014 年 1/7、2/12、3/26 全 11 回

⑥主催講座「保育部ももぐみの講座付き保育」

日 時：2014年1月17日（金）、24日（金）、31日（金）10：30～12：00

場 所：HRCビル4階研修室

内 容：

日	テーマ
1/17（金）	みんなで交流…見あっこ保育
1/24（金）	ちょっと困った あんなこと、こんなこと
1/31（金）	子どもとの暮らしをみつめて

参加者：子ども11名 おとな15名 担い手14名

⑦講座つき保育実践講座 \*大阪市子育ていろいろ相談センターからの依頼

講座名：「1・2歳子育て講座」

日 時：2014年10月30日（水）、11月6日（水）、13日（水）10：30～12：00

場 所：大阪市子育ていろいろ相談センター

内 容：

日	テーマ	参加者
10/30（水）	ほかの子どもたちとも遊んでみよう	20組
11/ 6（水）	ちょっと困ったあんなこと、こんなこと	17組
11/13（水）	子どもとの暮らしをみつめてみよう	15組

### 3. 子どもの参加の促進

#### （1）ティーンズメッセージ from はらっぱ

・今年も子ども編集部員が企画、取材、執筆を行った。今年から、子ども編集部員の中から編集リーダーを選び「子ども編集部」としての活動にも力を注いだ。

・他団体の10代との交流を行い（仙台・神戸・東京を訪問）、報告は誌面で発信。

①東北子どもまちづくりサミット（5/4～5）

②子どもまちづくりリーダーツアー（7/29）

③子どもの権利条約フォーラム2013（11/16～17） ※詳細は（3）参照

・子ども人権連「子どもの権利条約具体化のための実践」の助成金の申請に子ども編集部員が挑戦。得た資金で「子どもの権利条約フォーラム in 東京」に参加し、子ども編集部の活動について発信。

#### （2）「きみの声で楽校をつくろう！」プロジェクト

2010年の夏に開催した子どもの楽校。子どもたちの「またやりたい」に応え、今年も「子どもの声で学校をつくったらどんな学校になるだろう」と、事前に募集した子ども実行委員たちによる企画で、子どもの楽校を夏休みに開催。今年は、過去3回の参加者の中から子ども実行委員への希望者が多く、にぎやかな子ども実行委員会となった。

①子ども実行委員会

日 程：6/2、7/7、28、8/16

会 場：堺市立梅文化会館、西原公園

子ども実行委員人数：33名

②子どもがつくる楽校

日 程：8/17、18

会 場：堺市立梅文化会館、西原公園

参加者：81名（高校生4名、中学生5名、小学生72名）

※参加者とは別に講師として、堺市立泉北高校の学生も協力（20名）

内 容：「巨大プリンをつくろう！」「ワンピースとドラえもんが好きな人あつまれ！」

「とかげのすきな人あつまれ！」「クイズで知ろう！自分のけんり」「ファッション

ョン～モデルになってショーにでよう！」「THE・さぼりまショー」など。

全38授業。

助成金：子どもゆめ基金

（3）「子どもの権利条約フォーラム in 東京」への参加

日 程：11月16日（土）、17日（日）

場 所：国立オリンピック記念青少年総合センター

参加者：5名（大学生1名、高校生2名、中学生1名、小学生1名）

担当分科会：THE・こたえまショー！

～子どものことは子どもに聴いて。おとなの悩みも一緒に考えます～

助成金：子ども人権連「子どもの権利条約具体化のための実践」

## 4. 子どもの権利に関する図書の編集刊行

（1）『はらっぱ』（月刊）の編集・発行

子ども情報研究センターの各事業から見えてきた子どもの人権の現状や課題を発信するとともに、各地の子どもの人権保障の取り組みを紹介。今年度から特集は、各事業編集とし、各事業から見えてきた問題や課題、知りたいことなどをテーマとして取り上げ発信。一層センター発信の姿勢を強化。

①コーナー構成

表紙／もくじ／特集／はらっぱを吹く風／考えたこと－2011. 3. 11から（青木悦さん連載）、大切な命を大切に生きよう（安積遊歩さん連載）（隔月）／ティーンズメッセージ from はらっぱ／誌上・連続講座「子どもの人権と保育教育」／からだ・ことば・リズム／教えて!?コドモのセカイ／子ども時評／子どもが答えるおとなの悩み、子育て温泉（隔月）／親と子の自然教室、ともに生きる（隔月）／子どもの権利条約基礎講座／センター発／LETTERS／だから、これが好き／スタッフの、ひとりごと…☆／〇月の予定／ニュース切り抜き帳／情報／ピックアップ／事務局日誌

## ②特集担当テーマ

4月号：体罰①子どもの声、教師の声

5月号：体罰②体罰はなくせると信じて、子どもとともに

6月号：障害児と子育て支援を考える

7月号：どうする？保護者とのコミュニケーション～困ったトラブルだと思う前に～

8月号：日本軍「慰安婦」について考える 歴史から目を背けず、学び続けたい

9月号：大阪市西区二児放置死事件から私たちが何をすべきかを考えた

10月号：保育から広がる子どもの人権 保育部ももぐみの取り組み

11月号：ファミリー子育て何でもダイヤル発！誌上実践講座『聴く』

12月号：「改憲論」について考える

1. 2月合併号：こどもとおとながむきあえる社会へ チャイルドラインの活動から

3月号：子どもとのかかわり方 不登校の子ども居場所「自由空間☆きらり」の活動から考える

## ③『はらっぱ』専用ブログの更新、充実に努める。

<http://ameblo.jp/harappa307/>

## (2) 年次報告書の編集・発行

チャイルドラインOSAKA、ファミリー子育て何でもダイヤル、子ども家庭相談室

## 5. 子どもの権利に関する研修

### (1) 第35回人権保育教育連続講座

会場：HRCビル 5階ホール

テーマ：子どもの人権を大切にする保育を、ともに

参加者：前期289名、後期281名（1講ごとの参加人数は60～100名程度）

#### 【前期プログラム】

日程	テーマ	講師
5/29 (水)	解放保育がなげかけたもの 解放保育から学ぶことは？	堀井二実（園田学園女子短期大学）
6/11 (火)	子どもの姿から学びあう障害児共生保育 認め合える仲間とともに	棚田純子（ちゃいるどネット大阪）
6/26 (水)	子ども・子育て関連法をどう活かすか 「子ども・子育て支援新制度」への期待と課題	普光院亜紀（保育園を考える親の会）
7/3 (水)	子ども発の表現とは 子どもの思いをどう生かすか	永渕泰一郎（畿央大学教育学部）
7/10 (水)	保護者とのコミュニケーション 連絡帳、クラスだよりを考える	田中文字子（子ども情報研究センター）

【後期プログラム】

日程	テーマ	講師
10/9 (水)	子どもとともに自然に生きる さあ、自然の中にとびだそう！	実践報告：豊能町立吉川保育所 コーディネーター：森山康浩 (子ども情報研究センター)
10/16 (水)	地域でともに育ちあい しなやかに生きる	チームかなこ
10/23 (水)	笑顔いっぱい うたあそび ひととふれあうあたたかさ、 なかまとつながる楽しさを！	谷畑恵子 (リズムと表現の会)
11/6 (火)	子育て温泉 子どもの人権を保障する場をつくろう	奥村仁美 南田安紀子 (子ども情報研究センター保育部ももぐみ 共同子育て連絡会)
11/13 (火)	乳児の育児担当保育とは そのねらいと具体的な進め方	実践報告：奈良市立都南保育園 コーディネーター：堀井二実 (園田学園女子大学短期大学部)

\*時間はいずれも 14:00～16:30

(2) 大阪市子ども家庭支援員研修【大阪市からの業務委託】

大阪市子ども家庭支援員認定研修、現任研修の企画・実施。

【認定研修】

場 所：HRC ビル 4階研修室

修了者数：受講者9名のうち9名修了

プログラム：

日程	テーマ	講師
10/29 (火)	開講式	大阪市こども青少年局
	児童虐待防止における市民の役割 (1)	山下裕子 (子ども情報研究センター事務局長)
	児童虐待の現状と課題	荒井直子 (大阪市こども相談センター)
11/7 (木)	子育て家庭の現状と課題	加藤伊都子 (フェミニストカウンセリング堺)
	子ども家庭支援員の役割	田中文子 (子ども情報研究センター所長)
11/13 (水)	虐待・体罰をしている親への回復支援	松浦洋栄 (NPO 法人子育て運動えん)

11/20 (水)	家庭訪問支援の実際 (1)	小谷訓子 (子・己育ち相談リリース主宰)
	家庭訪問支援の実際 (2)	奥村仁美 (SAKAI子育てトライアングル代表理事)
11/26 (火)	家庭訪問支援の実際 (3)	大阪市子ども家庭支援員
	児童虐待防止における市民の役割 (2)	山下裕子 (子ども情報研究センター事務局長)
	終了式	大阪市こども青少年局

### 【実践研修】

会 場：HRC ビル 4 階研修室、10 階特別会議室

プログラム：

日	テーマ	講師	参加者
10/30 (水)	虐待のリスク要因と言われるものを持つ家庭への支援について	伊藤悠子 (NPO 法人子育て運動えん理事)	21 名
2/24 (月)	子どもへの性暴力	原田薫 (ウィメンズセンター大阪、性暴力救援センター・大阪)	10 名
3/4 (火)	ホワイトボードミーティング 2013	ちよんせいこ (株式会社ひとまち)	13 名
3/18 (火)	「子ども虐待」を理解する	藤本勝彦 (特定非営利活動法人 児童虐待防止協会)	11 名

### (3) 子どもとあそびのネットワーク

交流会やグループ訪問でたくさんのお会いがあった。各活動のあそびの中から、子どもの人権を大切にしたいかかわりを、学び合うことができた。(2013 年度：15 グループ)

#### ① 交流会

イベント名	開催場所	開催日	人数
はらっぱごっこ	抱月小公園	5/24	7 名
ちょこっとあそび	HRC ビルロビー アイアイカフェ	6/24、28、11/19、22	2～19 名
港区 de 子育て温泉	HRC ビル 402	7/26、10/25、	2～10 名

#### ② グループ訪問「おじやまんぼう」

グループ活動に訪問し、一緒にときを過ごした。訪問の様子はブログで報告。各回の参加者は、2～10 名。

日	訪問先
4/22	ぽらりすひろば
5/7	ジャングルようちえん



6/8	親と子の自然教室
7/2	はらっぱ「よつば」
8/17・18	夏休みは子どもの声でつくった楽校であそぼう
中止	にしなりあそぼパーク
9/3	フピイまつり
10/5	AIAI フェスタ～出会い・ふれあい・ささえあい～
10/19	秋のちょっと収穫会（マレットファン）
11/3	いのち紡ぐわたしたち
11/18	NPO 法人りりあん
12/13	はらっぱ保育所
2/11	キラキラC l u b・子育てパーク
3/28	きらぼかひろば

③ 定例会

4/26、5/24、6/28、7/26、9/27、12/13、1/11、1/17、1/31、3/7（各回3～11名参加）

④ 講師派遣

日程	テーマ	依頼先
4/24	おじまんぼう～しんぶんあそび	堺まちかど子育てサポートルーム
5/16	保育ボランティア養成講座 こどもとあそび	市民交流センターにしなり
8/24	あそびの広場	大阪市立子育ていろいろ相談センター
8/30	つどい広場と地域子育て支援センター職員研修 子どももおとなも一緒に楽しもう ～身近な素材であそびがいっぱい～	大阪市立子育ていろいろ相談センター
1/11	身近な素材を使って子どものあそびをキャッチ	大阪市立子育ていろいろ相談センター

⑤ ブログ更新随時 <http://asonet.exblog.jp>

（４）自然教室

日 程：6月8日（土）

行き先：和歌山県和歌山市 加太海岸

内 容：磯浜のいろいろな生き物を観に行こう

参加者：おとな10名、子ども8名

（５）第7回大阪発保育・子育てを考える集い【自治労大阪府本部との共催】

日 程：9月8日（日）

場 所：ヴィアーレ大阪

全体会：「地域でともに育ちあい、しなやかに生きる」

記念講演 ～「チームかなこ」からの発信～

6分科会のうち、分科会A「保育の中の子どもの権利条約～あかちゃんの意見表明権から考える」の講師を「保育部ももぐみ」が努めた。

また、全体会当日の保育も「保育部ももぐみ」が担当した。

## (6) その他、自主講座・研修の企画実施

### ①「子ども・子育て支援新体制についての学習会」

日 時：6月15日（土）9:00～11:00

内 容：子ども・子育て支援新制度では、今後、市町村子ども・子育て支援事業計画の作成、市町村子ども・子育て会議の発足など、市町村の取り組みが大きな役割を担う。大阪での取り組みを広げていくため森田明美さんを招き勉強会を開催した。

参加者：33名

### ②「丸木美術館へ行きませんか！」

日 程：7月6日（土）

内 容：丸木位里、俊夫妻の「原爆の囀」が常設してある美術館を訪問。

参加者：9名

### ③緊急上映会「標的の村」

日 時：12月22日（日）18:00～20:00

内 容：琉球朝日放送制作のドキュメンタリー映画『標的の村』の上映会を行い、沖縄で今、おこっていることを知ることから始める。

参加者：136名

## (7) その他、行政からの講座・研修の企画運営を受託・実施

### ①八尾市養育支援訪問事業訪問員養成講座業務委託

八尾市養育支援訪問員養成講座とフォローフォローアップ講座の企画と実施、養育支援訪問支援員マニュアルの作成

#### 【養成講座プログラム】

日	テーマ	講師
8/5 (月)	養育支援訪問事業の意義と目的	田中文子（子ども情報研究センター所長）
	子育て家庭支援の現状と課題	奥村仁美（SAKAI 子育てトライアングル代表理事）
8/6 (火)	事例検討	今橋千晶（子ども家庭相談室相談員）
	訪問支援の実際	小谷訓子（子・己育ち相談リリーフ主宰）
8/7 (水)	傾聴	橋本暢子（大阪府子ども家庭サポーター）
	今後の活動について	山下裕子（子ども情報研究センター事務局長）

#### 【フォローアップ講座プログラム】

日	テーマ	講師
2/4 (火)	妊娠期からの虐待予防 ～母と子の内なる力を発見！ 支援者ができることは？～	松浦洋栄（助産師）

2/5 (水)	児童虐待の現状について	木村百合（大阪府子ども家庭センター前所長）
------------	-------------	-----------------------

②和泉市育児支援家庭訪問事業家庭訪問支援員養成講座企画・運営業務

委託内容：和泉市育児支援家庭訪問事業家庭訪問支援員養成講座の企画・運営

【プログラム】

日	テーマ	講師
10/3 (木)	開講式	和泉市養育支援訪問事業担当者
	児童虐待防止における市民の役割（1）	山下裕子（子ども情報研究センター事務局長）
	児童虐待の現状と課題	木村百合（児童虐待防止協会）
10/10 (木)	子育て家庭の現状と課題	加藤伊都子（フェミニストカウンセリング堺）
	養育支援訪問員の役割	田中文子（子ども情報研究センター所長）
10/16 (水)	虐待・体罰をしている親への回復支援	松浦洋栄（NPO 法人子育て運動えん）
10/23 (水)	家庭訪問支援の実際（1）	奥村仁美（NPO 法人 SAKAI 子育てトライアングル 代表理事）
	家庭訪問支援の実際（2）	小谷訓子（子・己育ち相談リリース主宰）
10/30 (水)	家庭訪問支援の実際（3）	今橋千晶（〇市養育支援訪問員）
	児童虐待防止における市民の役割（2）	山下裕子（子ども情報研究センター事務局長）
	終了式	和泉市養育支援訪問事業ご担当者

（8）講師紹介

行政、社会福祉協議会、NPO 等が主催する講座等に講師を紹介。

6. 子どもの権利に関する国際交流事業

（1）アジア保育・教育交流推進実行委員会「大阪マイペンライ」への参加と交流

大阪マイペンライは10月30日の第21回総会をもって、会の活動が終了。

本事業も終了とする。

## (2) タイの教育支援を行う非営利団体「マレットファン」との交流

### ①「春の種まき会～マレットファンとの交流会～」

日 時：4月20日（土）14:00～16:00

場 所：HRC ビル4階研修室

内 容：これまで保育交流で出会ってきたタイの保育教育事情の最新と課題について。タイの「子ども」「おとな」を対象に教育支援を行うことを目的に立ちあがったマレットファンの活動から、私たちができることについて考えた。

参加者：おとな22名、子ども7名

### ②「秋のちょっと収穫会

～「こども」と「おとな」の国際力を育てる-国際交流の新しいカタチ-

日 時：9月19日（土）14:00～16:00

場 所：HRC ビル4階研修室

内 容：マレットファンの近況報告。春の種まき会以降にタイを訪れた会員さんたちの報告。今の日本社会に求められる国際力（どちらか一方の支援ではなく、相互に学びと想像を生む新しい国際交流）のあり方について、ともに考えた。

参加者：おとな17名、子ども3名

## 7. 新規事業

### (1)「子ども家庭相談室相談員研修プログラム」開発プロジェクト

「子ども家庭相談室」の相談員を養成するプログラムの作成および、地域社会における子どもの人権救済を担う人の養成を目的に設立。

子どもアドボケイトに求められる役割と姿勢に関する調査研究、子どもアドボケイトとは何かを追究。3回の研究会を持った

①2014年1月28日（火）10:00～12:00 研究内容とスケジュール確認

②2014年2月27日（木）10:00～12:00 対立している関係性の中で意見を言う力について

③2014年3月26日（水）10:00～12:00 アドボカシーの実際について

## Ⅲ 収益事業

(1) はらっぱ叢書の編集：なし

(2) その他単行本の編集：なし

(3) 編集業務の受託

『自治労の保育運動』編集【自治労中央本部からの業務委託】

年2号（No.28号7月、No.29号11月）の発行。

## **第2号議案** 2013年度決算（案）…別紙

## **第3号議案** 2014年度修正予算（案）…別紙

## **第4号議案** 役員の変更（案）

### **理事・監事の辞任、ならびに、辞任に伴う補欠選任**

桜井智恵子理事、永野有紀理事、宮川要二、以上理事3名、堀井二実監事が5月18日付け辞任。

- ・桜井理事の補欠として  
橋本暢子（はしもとのぶこ）さん 公益社団法人子ども情報研究センター会員
- ・永野理事の補欠として  
岩崎富巳子（いわさきとみこ）さん 連合大阪政策・政治・中小・広報グループ部長
- ・宮川理事の補欠として  
堀井二実（ほりいふたみ）さん 大阪人権保育連絡協議会代表
  
- ・堀井監事の補欠として  
山田裕子（やまだゆうこ）さん 特定非営利活動法人大阪NPOセンター事務局長

を理事会推薦として、提起する。